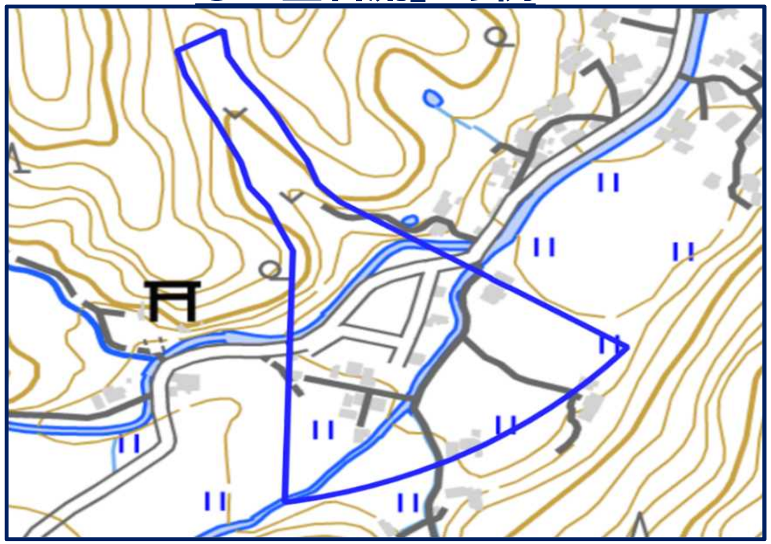
土砂災害警戒区域の新たな指定に向けた基礎調査対象箇所

【新たな基礎調査対象箇所の抽出】

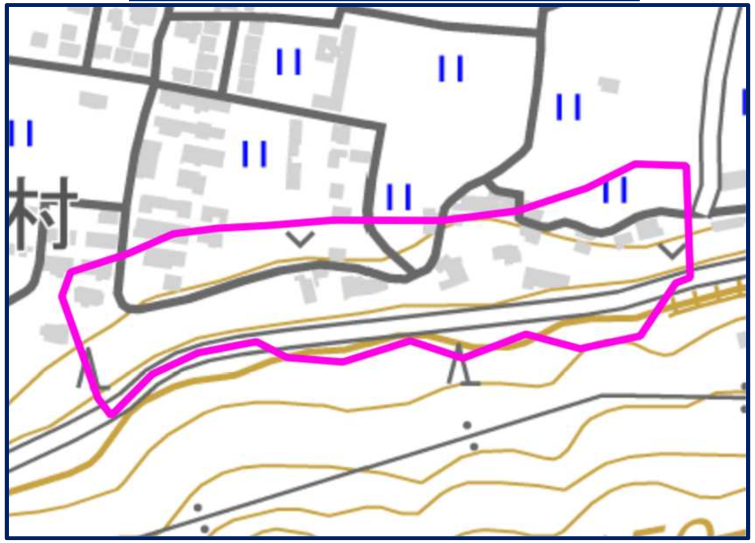
◆**高精度な地形情報**を用い、**地形要件**を満たし**人家等が立地**する箇所を、
新たな基礎調査の対象箇所として**「３,８９５箇所」**抽出

○「土石流」の例



地形要件：谷の出口から下流へ勾配２度以上

○「急傾斜地の崩壊」の例



地形要件：傾斜度３０度以上、高さ５m以上

【基礎調査対象箇所の取扱いについて】

◆基礎調査の結果により、**土砂災害警戒区域に指定されない**場合や、
指定される場合でも、**区域範囲が変わる可能性**があります
◆建物の建築規制等が発生するものではありません